

第2章 周南市の目指す 環境像と基本方針

第2章 周南市の目指す環境像と基本方針

第1節 周南市の目指す環境像

豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南

～自然の恩恵を将来の世代とわかちあうために～



本市は、石油化学コンビナートを柱とする周南工業地帯の中核都市として発展してきました。私たちの生活やコンビナートで使用する水は、山間部の豊かな自然によってはぐくまれており、農作物や魚介類などの自然からの恵みは、良好な環境によってもたらされています。

このように、私たちの生活や産業は環境と密接に関係しており、決して無関係ではありません。

本市は、本州唯一のナベヅルの渡来地であり、ナベヅルが大空をはばたくように持続的に発展していくためには、産業の振興と豊かな自然を次世代に継承することが必要です。

そこで、周南市が目指す環境像を『豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南 ～自然の恩恵を将来の世代とわかちあうために～』として計画を推進します。

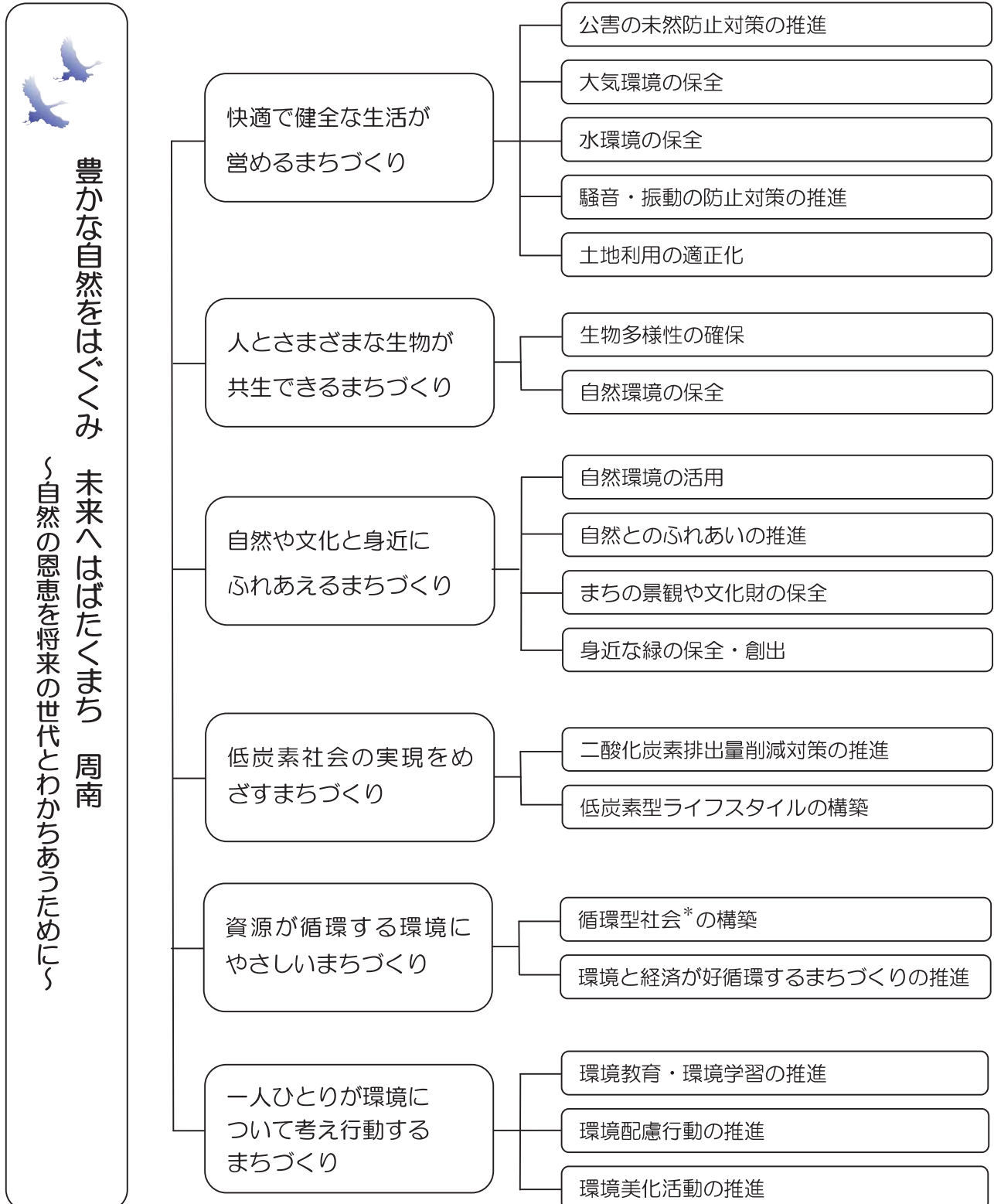
第2節 計画の体系

本市の目指す環境像の実現に向け、基本方針、基本施策を次のように体系づけ、計画を推進します。

【環境像】

【基本方針】

【基本施策】



第3節 基本方針と基本施策

本市の目指す環境像を実現するため、6つの基本方針を掲げています。基本方針に基づいた基本施策の実施を図り、計画を推進します。

【基本方針】

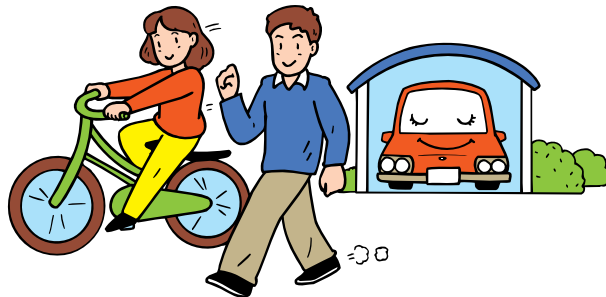
- 快適で健全な生活が営めるまちづくり
- 人とさまざまな生物が共生できるまちづくり
- 自然や文化と身近にふれあえるまちづくり
- 低炭素社会の実現をめざすまちづくり
- 資源が循環する環境にやさしいまちづくり
- 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり

快適で健全な生活が営めるまちづくり

一人ひとりが日常生活の様式を見直し、環境への負荷を少なくするとともに、地域の自然条件や社会条件と調和した土地利用に努め、快適で健全な生活環境の保全、創出を図ります。

○基本施策

- ①公害の未然防止対策の推進
- ②大気環境の保全
- ③水環境の保全
- ④騒音・振動の防止対策の推進
- ⑤土地利用の適正化

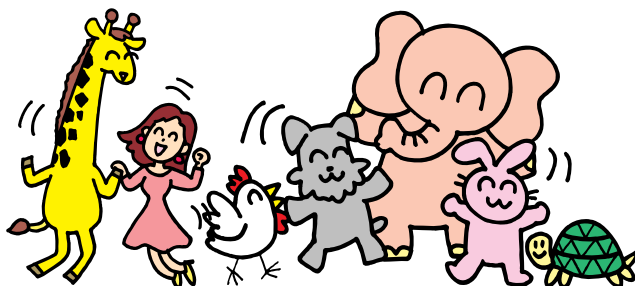


人とさまざまな生物が共生できるまちづくり

地域の特性を踏まえ、自然が本来あるべき姿を見だし、自然環境を保全、再生し、健全な生態系の維持、回復を図ります。

○基本施策

- ①生物多様性の確保
- ②自然環境の保全



自然や文化と身近にふれあえるまちづくり

自然の恵みや文化財を利活用しつつ、自然環境や快適環境の保全、再生を図るとともに、地域への愛着心や環境保全意識の向上を図ります。

○基本施策

- ①自然環境の活用
- ②自然とのふれあいの推進
- ③まちの景観や文化財の保全
- ④身近な緑の保全・創出

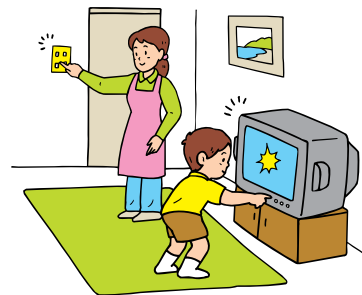


低炭素社会の実現をめざすまちづくり

省エネルギー、新エネルギーの利活用やライフスタイルの変革を推進し、温室効果ガスの排出を自然が吸収できる量以内にとどめる低炭素社会の構築を図ります。

○基本施策

- ①二酸化炭素排出量削減対策の推進
- ②低炭素型ライフスタイルの構築

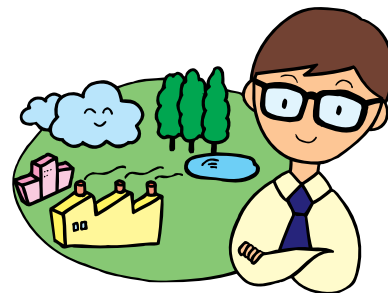


資源が循環する環境にやさしいまちづくり

環境の保全と地域経済の活性化を両立し、地球環境の保全やゼロエミッション*社会の構築を図ります。

○基本施策

- ①循環型社会の構築
- ②環境と経済が好循環するまちづくりの推進



一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり

各主体がそれぞれの立場で自主的かつ積極的に環境問題について取り組み、環境保全活動の充実を図ります。

○基本施策

- ①環境教育・環境学習の推進
- ②環境配慮行動の推進
- ③環境美化活動の推進



アンケートによる市民の声

小学生

もっと積極的に環境問題に取り組むべきだと思う。大人の人の中には、「自分がやっても何の足しにもならない」と考えている人がいます。周南市をもっと環境問題について考え、きれいですてきな市にしたいです。(女子)

川をきれいにして、色々な魚がいる川をつくり、山にもっと木を植えて、緑豊かな周南市になってほしい。(男子)

中学生

一人ひとりが環境に対する意識を高めていければいいと思う。電気をつけたままにしないとか、小さなことでも、みんながやれば大きなものになると思う。(男子)

周南市はどちらかというと、きれいな所だけど、環境問題は益々深刻になっていると思うので、家庭やボランティア活動から、ストップ温暖化に取り組み、みんなで周南市を美しくしたい。(女子)

20 歳代

小さな子供がいるので、安全で住み良い市になると良いと思います。育児等でストレスがたまらないように、家以外で子供と過ごせる場所がもっと増えたら良いと思います。緑が多く空気のきれいなところで育ててほしい。(女性)

太陽光発電の設置の推進のため、市の補助があればいいと思う。導入したいと思っていますが、コストが高いため難しい。公共施設にも積極的に導入していけば、アピールになると思う。(男性)

30 歳代

レジバッグの有料化やペットボトルの再利用などの有効性を分かりやすく説明してもらえたらと思う。(男性)

他の地域に住む人たちが、周南市に来てみたいと思う環境にしてほしい。(男性)

路上のポイ捨てが多い。ポイ捨ての罰則をつくらして取り締まってほしい。(女性)

40 歳代

市の環境行政は、自然とにぎわいの共生が図れていないと思う。環境に関して、市から発信できるものがあればいいのではないか。(男性)

周南市は、企業（工場）と共に生きてきた町なので、工場の大気汚染・悪臭・騒音も仕方ないことと思うが、より良い環境のためには、企業と市民がお互いを理解しあい、共存していくことが必要だと思います。(女性)

50 歳代

市民のゴミ分別の意識を高めるような働きかけが必要であると思う。例えばペットボトルのラベルは外して出すようにするなどの。(男性)

まちにもっと多くの緑や公園を増やしてほしい。(女性)

大人が物や自然を大事にすることを、子供に良い手本として示すことが大事だと思う。(女性)

60 歳代

高度経済成長時代では、生活のために環境が悪化しても仕方がないと思っていましたが将来を考えると、環境に良いことを実践していく必要があると思う。(男性)

市の実践していることを、広報等でわかりやすく市民に知らせる必要があると思う。また、実践していないことは積極的な姿勢が望まれる。(男性)

70 歳代以上

市民一人ひとりが環境問題に取り組むことが必要と思う。一人ひとりができることは、最低限行うようにするべきだと思う。(女性)

周南市は全国有数の石油化学コンビナートがあるので、CO₂排出削減を呼びかける必要がある。(男性)